

建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育の教育項目例

●は必ず行う項目 ◎は工事の内容に応じて適宜選択する項目

| 科目 | 内容（教育項目例） | 工事の種類 | | | 教育方式 | 時間 |
|----------------------|---|---|---|---|-------------------|------|
| | | 土木 | 建築 | 設備 | | |
| 労働安全衛生関係法令 | ●事業者の責任と労働者の遵守義務 | ○ | ○ | ○ | 対話 | 30分 |
| 安全施工サイクルに関する事項 | ●安全施工サイクルの実施方法 （安全ミーティング、KY活動、現地KY、作業手順書等） | ○ | ○ | ○ | 対話 | 60分 |
| 現場の労働安全衛生に関する具体的実施事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●現場の安全管理体制 ●現場での安全点検 ●有害物、有害作業、有害場所等の健康障害防止 ◎機械等による危険の防止 ◎危険物等による危険の防止 ◎電気等による危険の防止 ◎墜落等による危険の防止 ◎土砂崩壊等による危険の防止 ◎4S（整理・整頓・清掃・清潔） ◎腰痛体操、リフレッシュ体操等 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 対話 視聴覚教材 学習 | 90分 |
| 労働災害の事例及びその対策 | ●作業行動による労働災害防止対策 （ヒューマンエラー関係を含む） ・簡単な実習による体験 ・自己診断 | ○ | ○ | ○ | グループ学習 | 60分 |
| 実技訓練（現場でできる実技体験訓練） | <ul style="list-style-type: none"> ●服装及び保護具（呼吸用保護具、保護帽、安全带）の適切な装着方法 ●現場での合図の種類、方法及び確認 ●適切な安全指示の方法と対応 ◎クレーン、移動式クレーンによる危険の防止 （立入禁止、死角による危険場所等） ◎車両系建設機械による危険の防止 （立入禁止、死角による危険場所等） ◎現場での危険箇所の認識テスト ◎手工具の取扱い ◎爆発・火災等に関する救護方法 ◎避難訓練 ◎消火器の使用法 ◎救護蘇生の方法 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 実技体験 | 120分 |